

二風谷ダム魚道運用開始後に遡上した親魚に由来する平成9年におけるヤマメの推定生息数は多数であり、魚道が機能したものと考えられる。

二風谷ダム上流支川の貫気別川においてヤマメの推定生息数が平成10年に減少しているのは、

平成9年8月出水による頭首工部の落差の増大による親魚の遡上障害

続く越冬初期(平成9年11月)の洪水による卵及び仔魚へのダメージ

の2点が原因と考えられる。

大きな出水があった場合(平成元年11月、平成4年8月・12月、平成9年8月・11月、平成13年9月、平成15年8月)、翌年のヤマメの推定生息数が少ない傾向にある。

サクラマス親魚	
平成元年春から秋	遡上・産卵
平成2年春から秋	遡上・産卵
平成3年春から秋	遡上・産卵
平成4年春から秋	遡上・産卵
平成5年春から秋	遡上・産卵
平成6年春から秋	遡上・産卵
平成7年春から秋	遡上・産卵
平成8年4月に二風谷ダム魚道運用開始 平成8年春から秋	遡上・産卵
平成9年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(貫気別川)遡上障害 平成10年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(貫気別川)遡上障害 平成11年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(貫気別川)遡上解消 平成12年春から秋	遡上・産卵
平成13年春から秋	遡上・産卵
平成14年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(貫気別川)遡上障害 平成15年春から秋	遡上・産卵
旭第一頭首工(貫気別川)遡上障害 平成16年春から秋	遡上・産卵

サクラマス幼魚(ヤマメ)	
平成元年11月出水(ピーク 640m <sup>3</sup> /s) 平成2年6月調査	推定生息数(尾) 834
平成3年6月調査	推定生息数(尾) 2,215
平成4年6月調査	推定生息数(尾) 6,349
平成4年8月出水(ピーク 3,310m <sup>3</sup> /s) 平成4年12月出水(ピーク 390m <sup>3</sup> /s) 平成5年6月調査	推定生息数(尾) 355
平成6年6月調査	推定生息数(尾) 31,185
平成7年6月調査	推定生息数(尾) 24,542
平成8年6月調査	推定生息数(尾) 14,340
平成9年6月調査	推定生息数(尾) 36,849
平成9年8月出水(ピーク 1,960m <sup>3</sup> /s) 平成9年11月出水(ピーク 900m <sup>3</sup> /s) 平成10年6月調査	推定生息数(尾) 690
平成11年6月調査	推定生息数(尾) 0
平成12年6月調査	推定生息数(尾) 1,343
平成13年6月調査	推定生息数(尾) 908
平成13年9月出水(ピーク 2,000m <sup>3</sup> /s) 平成14年6月調査	推定生息数(尾) 0
平成15年6月調査	推定生息数(尾) 1,125
平成15年8月出水(ピーク 5,240m <sup>3</sup> /s) 平成16年6月調査	推定生息数(尾) 0
平成17年6月調査	推定生息数(尾) 0

サクラマスの生態は3年サイクルのため、3色に分けている。